

学校関係者評価報告書
令和6年度（2024年度）

令和7年（2025年9月）

学校法人電波学園

名古屋工学院専門学校 専門課程

学校関係者評価委員会

委員長	中野 孝則	吉田電気工事株式会社 代表取締役社長
副委員長	清水 薫樹	株式会社ナイトメアスタジオ 代表取締役
委員	横井 祐輔	株式会社シーエスイー 管理本部 総務部 課長
〃	橋本 裕	株式会社セントラルビデオ 取締役
〃	西部 伸治	メイワトラストテック株式会社 代表取締役
〃	立松 祐一	株式会社 TMW 執行役員
〃	泉 佳孝	父母等の代表 (メディア学部)
〃	中山 和子	父母等の代表 (テクノロジー学部)

目 次

I	学校関係者評価の基本方針	P. 1
II	重点目標に対する評価	P. 1
III	評価項目の達成及び取組状況	P. 3
	(1) 教育理念・目標	P. 3
	(2) 学校運営	P. 3
	(3) 教育活動	P. 4
	(4) 学修成果	P. 5
	(5) 学生支援	P. 5
	(6) 教育環境	P. 6
	(7) 学生の受入れ募集	P. 6
	(8) 財務	P. 6
	(9) 法令等の遵守	P. 7
	(10) 社会貢献・地域貢献	P. 7
	(11) 国際交流	P. 7
IV	今後の改善方策についての意見と具体的な改善方策	P. 8

I 学校関係者評価の基本方針

1. 学校の教育目標、計画に沿った取り組みの達成状況、学校運営等への取り組みが適切に行われたかについて自己評価を行い、学校運営等の課題について、継続的に改善を図るとともに、評価結果を公表する。
2. 自己評価結果の客観性・透明性を高めるとともに、設置学科に関連する企業・団体、卒業生、保護者など、学校が密接に関係する者の理解促進を図り、継続した連携体制を確保するため、業界関係者、卒業生、保護者等学校関係者から規程に基づき選任した委員による「学校関係者評価委員会」を設置し「学校関係者評価」を実施する。当該委員会の委員の助言、意見などの評価結果を学校運営等の改善に活用する。評価結果と改善への取組を本校公式 Web サイトに掲載し広く社会へ公表する。

II 重点目標に対する評価 (2024年度の重点目標)

次の4つの視点から、教育の質の維持・向上を図り、入学した学生が安心して学び、生活できる教育体制を実現する。

1. 教員の質
 - 1) 公開授業を通じた教員相互間の評価、学生授業アンケートのフィードバック、あるいは教員研修への積極的参加等を実施することにより、教員の教育力向上を図る。
2. 教育内容の質
 - 1) シラバス（授業計画書）の点検・整備等により、カリキュラム（教育課程）の不断の見直しを行うとともに、教育課程編成委員会において企業からのアドバイスをいただくことにより、社会から必要とされる知識・技術を兼ね備えた人材の育成を図る。
 - 2) カリキュラムマップ（履修系統図）の作成により、カリキュラムの体系性を示し、学生の主体的な学びを促す。
 - 3) より実践的な教育を進めるため、企業あるいは関連業界団体とのより一層の連携を図る。
3. 教育成果の質
 - 1) 各分野・学科が設定している教育目標の達成度向上に向けた工夫を行い、より高い成果を実現する。
 - 2) 就職を教育成果の最終成果と捉え、就職率向上に向けた施策を実施する。
4. 学習環境の質
 - 1) 学生が、日常において教育を受け生活する校舎および教育施設・設備の充実について、継続した施策を実施する。
 - 2) 卒業直前に、在学期間における本校の教育サービス全般（ハード面、ソフト面）について学生の満足度調査を行い、その結果に基づいて学習環境の改善を図る。

(2024年度の重点目標から作成した学校目標に対する評価・意見)

1. 非常に質の高い運営をされていると感じました。(企業委員)
2. 現状のままでいいと思います。(企業委員)
3. 適切な目標だと思います。(企業委員)
4. 今年度も委員会での報告をうけまして、適正且つ厳密に運営されていると理解致しております。今後の学生の入学に対しての取り組み、方針、活動に際しても非常に努力されている事が、今後の学校運営に大きく関わってくることと思います。(企業委員)
5. 今回は、前年度の取り組みを改善されていたので意見等はございません。(企業委員)
6. 貴校の2025年度学校目標は入学者数の確保からはじまり、在籍者への教育や就職率を向上させるべく、目標(方向性)が明瞭でとても心強く思いました。(企業委員)
7. 学校自己評価報告書の内容、8/30に開催された学校関係者評価委員会における各種資料の説明、質疑・応答のお話を伺い、内容について適切であると評価します。
8. 非常にきめ細かい対応をして頂いており、これらが就職率の高さに繋がっている所以と感じました。貴校の魅力である教育の質の高さを維持し続けると共に、やはり専門学校ですので、企業が求める人材により近づけるよう、更なる向上を期待します。学生も多様化しておりますが、常に就職を念頭に何を目指し学ぶ必要があるか、学校側のカリキュラム、企業からの情報等で刺激され熱意が高まるような環境作りをより一層期待します。(父母等委員)

III 評価項目の達成及び取組状況

自己評価（4：適切、3：ほぼ適切、2：やや不適切、1：不適切）結果に基づき、学校関係者評価委員より評価いただいた。学校関係者評価は各々の評価委員から回答のあった評点の平均をとって算出している。

(1) 教育理念・目標

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
A. 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	4
B. 学校における職業教育の特色は定められているか	4	4
C. 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	4
D. 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者・関係業界等に周知されているか	4	3.8
E. 各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3	3.5

(2) 学校運営

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
A. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4
B. 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	4
C. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	4
D. 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3.9
E. 教務・財務等の組織整備等意思決定システムは整備されているか	4	4
F. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4
G. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4
H. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4

(3) 教育活動

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
A. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3.9
B. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた 学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3.9
C. 学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
D. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立った カリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか	4	3.9
E. 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3.9
F. 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に 位置づけられているか	3	3.6
G. 授業評価の実施・評価体制はあるか	4	4
H. 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3.8
I. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4
J. 資格取得等に対する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4
K. 人材育成目標に向けて授業を行うことができる 要件を備えた教員を確保しているか	4	3.9
L. 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保する等マネジメントが行われているか	4	3.9
M. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか	4	3.9
N. 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3.8

(4) 学修成果

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
A. 就職率の向上が図られているか	4	4
B. 資格取得率の向上が図られているか	4	4
C. 退学率の低減が図られているか	2	3.5
D. 卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3.9
E. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3.8

(5) 学生支援

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
A. 進学・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
B. 学生相談に関する体制は整備されているか	4	3.9
C. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3.9
D. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3.9
E. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3.8
F. 学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
G. 保護者と適切に連携しているか	4	3.9
H. 卒業生への支援体制はあるか	4	3.9

(6) 教育環境

評 価 項 目	学校自己評価	学校関係者評価
A. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4
B. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3.9
C. 防災に対する体制は整備されているか	2	3.4

(7) 学生の受入れ募集

評 価 項 目	学校自己評価	学校関係者評価
A. 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか	4	4
B. 学生募集活動は、適正に行われているか	4	4
C. 学生募集活動において、教育成果（資格取得・就職状況等は正確に伝えられているか	4	3.9
D. 学生納付金は妥当なものとなっているか	4	3.8

(8) 財務

評 価 項 目	学校自己評価	学校関係者評価
A. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
B. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
C. 財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
D. 財務情報公開の体制整備はできているか	4	4

(9) 法令等の遵守

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
A. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
B. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	4
C. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	4
D. 自己評価結果を公開しているか	4	4

(10) 社会貢献・地域貢献

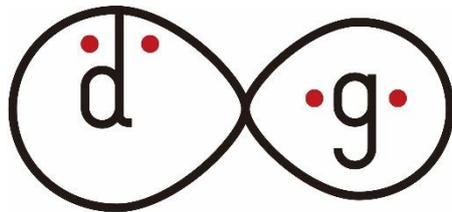
評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
A. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4
B. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4

(11) 国際交流

評価項目	学校自己評価	学校関係者評価
A. 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4	3.9
B. 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3.9
C. 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3.9

IV. 今後の改善方策についての意見

1. ぜひ教員の対応をロールプレイなどして相互に確認し高め合えるような環境があるとより良いと思いました。(企業委員)
2. 退学される学生は引き留めを図っても本人のやる気が歩かないかの問題で無理に引き留めることはないと思います。(企業委員)
3. 評価委員会にて保護者から「学校活動/成果が素晴らしいのをよく知らなかった」という発言がありました。すでに PRESS など十分な PR 活動はされていると思いますが、まだまだ知られてないのはもったいない。そこで「保護者へ」というタイトルを付けて年に数回 同様のパンフを生徒から保護者に届けてもらうなどしてはどうかと思いました。あらゆる接点で入学希望者を増やすという意味で、保護者からのクチコミを強化することになるかと思いましたので。(企業委員)
4. 就職率が非常に高いことは昨今の情勢を踏まえてみても、素晴らしいことと感じます。それだけ、どの企業、団体も人材の確保には苦慮されていますが、特に中小零細企業は新卒者の確保は難しくなっているのが現状です。ネームバリューのある会社や団体、そうではない会社様々ですが、学生に入社を決めてもらう気にさせる何かを情報提供も含め、方策を今以上考えて頂く必要があると感じますので、今回の基本方針以外のこととなりましたが、お伝えさせて頂きました。(企業委員)
5. 退学率の低減は、図られていると思われれます。会議でも述べましたが、ハラスメントが関係していればこの点を今以上にしっかりと行っていただきたい思います。(企業委員)
6. 企業情報、講演、インターンシップ等企業に触れる機会をより多くすることで、企業が求める人材を学生自身が感じとり、就職に向けて学びに対する意識の向上に繋がるのではないかと思います。防災に関しては、命を守るため、訓練の実施は必要と思います。(父母等委員)



ありがとう、と言われること。

電波学園